

トムス レクサスLC フロントディフューザー

このたびは、トムス フロントディフューザー(以下フロントディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、
「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等
をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2017年12月 現在)

適応車種
レクサスLC (URZ10) 平成29年3月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. フロントディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. フロントディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。走行前にゆりみがないかチェックしてください。
フロントディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
4. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
5. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
6. フロントディフューザー装着により、標準バンパーより全長約30mm長くなり、地上高約37mm低くなります。
7. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。



構成部品 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

①フロントディフューザー x1



- ②トムスエンブレム x1
- ③タッピングスクリュー (M4x20) x2
- ④PACプライマー x1
- ⑤ゴムワッシャー (3mm) x2

取付手順



- ①フロントディフューザーを車両に仮合わせをする。
取り外す車両タッピングスクリュー位置を確認し取り外す。(赤丸部分)

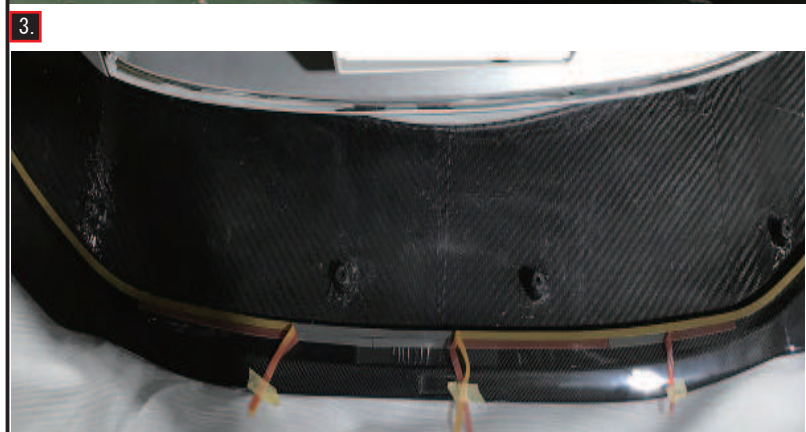


アドバイス

ガムテープでスポイラーを固定すると作業が容易になる。



- ①フロントディフューザーを車両タッピングスクリューを使用し仮止めをする。
各部位に不具合がないかを確認する。
また、フェンダーアーチ側の4mmタッピング穴をマジック等でマーキングをし、ドリル等でΦ2.5mmの穴を左右あける。



- ①フロントディフューザーを一度取外し、両面テープ離形紙を50mm程剥がしフロントディフューザー表面に折り返しマスキングテープ等で貼りつける。
両面テープ接着部分(車両側)を確認し、④PACプライマーを塗布する。

※PACプライマーを使用の際は付属の【取り扱い説明書】を熟読の上ご使用ください。誤った使用をしますと車両側の塗装面を痛めますので十分にご注意ください。



- 車両タッピングスクリューを使用し①フロントディフューザーを仮止めをし、車両に合わせる各部位に不具合が無い事を再度確認したら、両面テープ離型紙を車両中央から外側に向けて引き抜き、圧着をする。



5. 車両タッピングスクリューを本締めをする。



6. フェンダー折り返し部分を③4mmタッピングスクリューを使用し締める。
※隙間が出来る場合は⑤3mmゴムワッシャーを挟みこむ。

7. ①フロントディフューザーの前端部位のエンブレム貼り付け箇所を脱脂し、②トムスエンブレムを貼り付ける。

8. 各部位のタッピングスクリュー類の締め忘れがないか再度確認をする。